

今年の運動会は・・・

5月14日(木)に5、6年生が、運動会の練習後に校庭の石拾いをしました。一人一人が進んで石拾いに取り組み、拾った石は一輪車3台分にもなりました。

運動会は、体育の時間に習得した技能や態度等の成果を発表する機会であるとともに、運動会までの練習を通して体力の充実や集団の一員としての意識を高める機会であると考えます。また、児童が運動会の進行や準備等の係の仕事を担うことで、自主性や協調性、責任感などが育つ機会でもあると思います。校庭の石拾いも、自分たちだけでなく全校児童の安全を考えるという高学年としての自覚や思いやりの心が育つことにつながったように思います。

さて、今年の運動会では、児童に仲間と力を合わせて頑張ることの素晴らしさに気付かせることを意図した小さな試みをしようと教職員で話し合い、一部種目の変更等を行いました。一つが、三色対抗玉入れと三色対抗綱引きを三色綱引きに一本化したことです。玉入れが1年生の種目としてあることや、玉入れよりも綱引きの方がみんながまとまって頑張るということを経験できるのではないかと考え、綱引きに一本化しました。綱引きだけにリレー以外の選手が出ることになるのですから、綱引きに参加する人数が多くなります。そこで、1・3・5年の組による三色対抗綱引きと2・4・6年生の組による三色対抗綱引きの2回に分けて試合を行うことにしました。みんなで力を合わせて綱を引く児童に、どうぞ大きな声援をお願いいたします。

もう一つは、応援合戦を工夫しました。応援合戦がそれぞれの組のまとまりをより強く意識できるように内容を児童と教師がともに考えました。また、閉会式の中で、陽南小学校への児童からのエールが入りました。こちらも新しい試みです。

児童はダンスの練習にも、団体競技の練習にも、一生懸命に取り組んでいます。児童一人一人の輝く姿をお楽しみに。



地域の安全・安心について考える

5月21日(木)の1、2校時に、5年生がALSOKにご協力いただき、クラスごとに防犯教室を行いました。

安全で安心な街ってどういう街だろうという講師の問いかけのあと、グループごとに街の地図から、危険と思われる場所や場面を考えました。児童は信号機のない交差点や踏切、駐車場など街にある危険と思われる場所を見つけていきました。公園も野良犬がいたり、ひと気がなかったりすると危険であることにも気付きました。

班で考えた危険箇所とその理由を発表し、みんなで確認した後、危険から自分の身を守る上で大切なことを考えました。児童は、昼間だけでなく、夜間の時をも想定し、物音に注意する、防犯ブザーを身に付けるなど自分の身を守る上での注意点を発表していました。

今回の学習を「総合的な学習の時間」の導入とし、児童は自分たちの地域に出かけ、危険な箇所を探し、その状況や理由を調べ、対応策を考えます。最後に、調べて分かったことや考えたことをまとめ発表する予定です。

これらの活動を通して、地域を安全という観点からとらえ直し、危険を予測したり、回避したりする力を身に付けるとともに、よりよい地域づくりへの意欲を育むことにつながっていきます。



「いのちのあさがお」のふたばができました!!

1年生が5月8日に種をまいたあさがおから、大きなふたばが出てきました。毎朝、プランターにまいた種に水やりをしていた1年生は、大きなふたばが出てきたことに大喜びです。

1年生がプランターで育てているこのあさがおが、「いのちのあさがお」です。新潟県の小学校で、一人の1年生が育てていたあさがおが、「いのちのあさがお」として名付けられ、全国へと広まっていったのですが、それは次のようなことからです。

あさがおを育てていた子は、丹後光祐（たんごこうすけ）君。いつも明るい活発な男の子でしたが、「急性リンパ性白血病」が悪化し、1年生の9月にわずか7歳で亡くなってしまいました。光祐君が小学校に通ったのは3か月。その短い学校生活の中で光祐君が大切に育てていたアサガオから30粒ほどの種が採れました。光祐君のお母さんは、その種が子供が生きたあかしのよう to 思え、翌年庭にまいたのです。種が種を生み、たくさん採れた種をお母さんは、「いしかた・骨髄バンクを育てる会」のイベントで来場者に配ったのです。それが新聞記事となり、「いのちのあさがお」は光祐君の話とともに、命の大切さを教えるための教材として全国の小中学校へと広まっていきました。

本校では、国際ソロプチミスト宇都宮のご支援を得て、児童に命の大切さを教える機会としたいと、「いのちのあさがお」の映画を鑑賞する全校集会と1年生による「いのちのあさがお」の種まきを5月8日に行いました。

「いのちのあさがお」の映画鑑賞では、児童だれもが映画をしんと見ていました。映画鑑賞後の児童から、「自分の命を大切にしたい。」「これからいろんなことをがんばりたい。」などの感想が聞かれました。

映画鑑賞後1年生が、光祐君が育てたアサガオから増やした「いのちのあさがお」の種をプランターに一粒ずつ丁寧にまいていきました。種は国際ソロプチミスト宇都宮の皆さんが10粒ずつ小袋に入れておいてくださいました。「いのちのあさがお」を育てることを通して、光祐君やお母さんの思いや願いにふれ、命を大切にしようとする心を育てていきたいと思ひます。



「いのちのあさがお」についての本の紹介・・・図書室にあります。

○絵本：「いのちのあさがお」 ハート出版 あやのまさる、まつもときょうこ

○童話：「いのちのあさがお ～コウスケくんのおくりもの」 ハート出版 綾野まさる、松本恭子

いじめ防止への取組

本校では、児童がこれまで以上に、楽しく、安心して学校生活を送ることができるように、いじめの防止、いじめの早期発見及び対処を組織的に進めるための方針を策定し、それに基づきいじめ防止への取組を行っています。本校のいじめ防止基本方針の中から一部をご紹介します。

1 いじめの防止等の基本的な考え方

いじめは、何より発生させないことが最も重要であり、発生した場合には、早期に発見し、迅速かつ組織的に対応します。

2 いじめの防止等の取組

いじめの起こらない環境づくりを進めるため、本校で計画している主な活動は次の通りです。

○6月・10月を「いじめゼロ強調月間」とし、いじめ対策に重点的に取り組みます。

・いじめゼロ強調月間スローガンの掲示 「いじめゼロ しない 負けない 許さない」

・いじめに関する内容を含んだ道徳の授業の実施 ・学校生活に関するアンケート調査の実施

○年間を通したあいさつ運動の実施

○あさがおを育てることを通して命の大切さを学ぶ「いのちのあさがお」の取組の実施

○「私の人権宣言」の作成

○人権教育だより「にっこりタイムズ」の発行

○いじめゼロ・にっこり集会（6/17：児童によるスローガン発表と縦割り班遊び） など